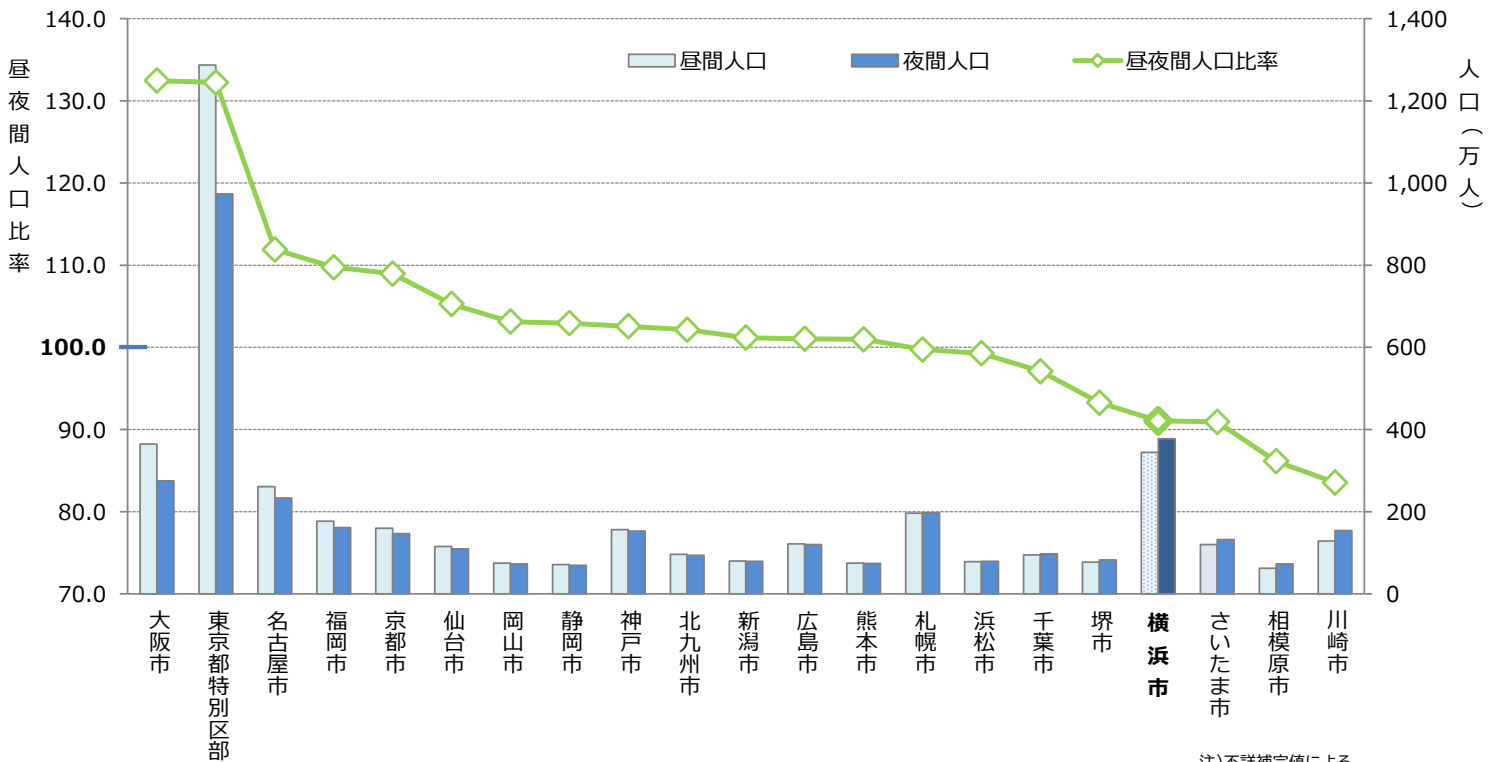


～令和2年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果 横浜市の概要～  
令和2年国勢調査(従業地・通学地による人口・就学状態等集計結果)の横浜市分について概要をまとめました。

# 昼夜間人口比率は 91.1

## 21大都市中最大の前回比 0.6ポイント上昇

21大都市の昼夜間人口比率の状況



注)不詳補完値による。

### 昼夜間人口比率

令和2年

**91.1**

↑ **+0.6**

平成27年

**90.5**

21大都市(政令指定都市と東京都特別区部)における昼夜間人口比率をみると、12市及び東京都特別区部で昼間人口が夜間人口を上回り、昼夜間人口比率が100を超えています。横浜市を含む8市で昼間人口が夜間人口を下回っています。横浜市は昼間人口が344万70人、夜間人口が377万7491人で、昼夜間人口比率は91.1となっています。

前回(平成27年)と比べると、横浜市を含む3市で上昇し、そのうち横浜市が最も上昇(0.6ポイント上昇)しています。

【「横浜市の概要」P8～9参照】

# 1 行政区別昼夜間人口比率及び行政区間の流入人口

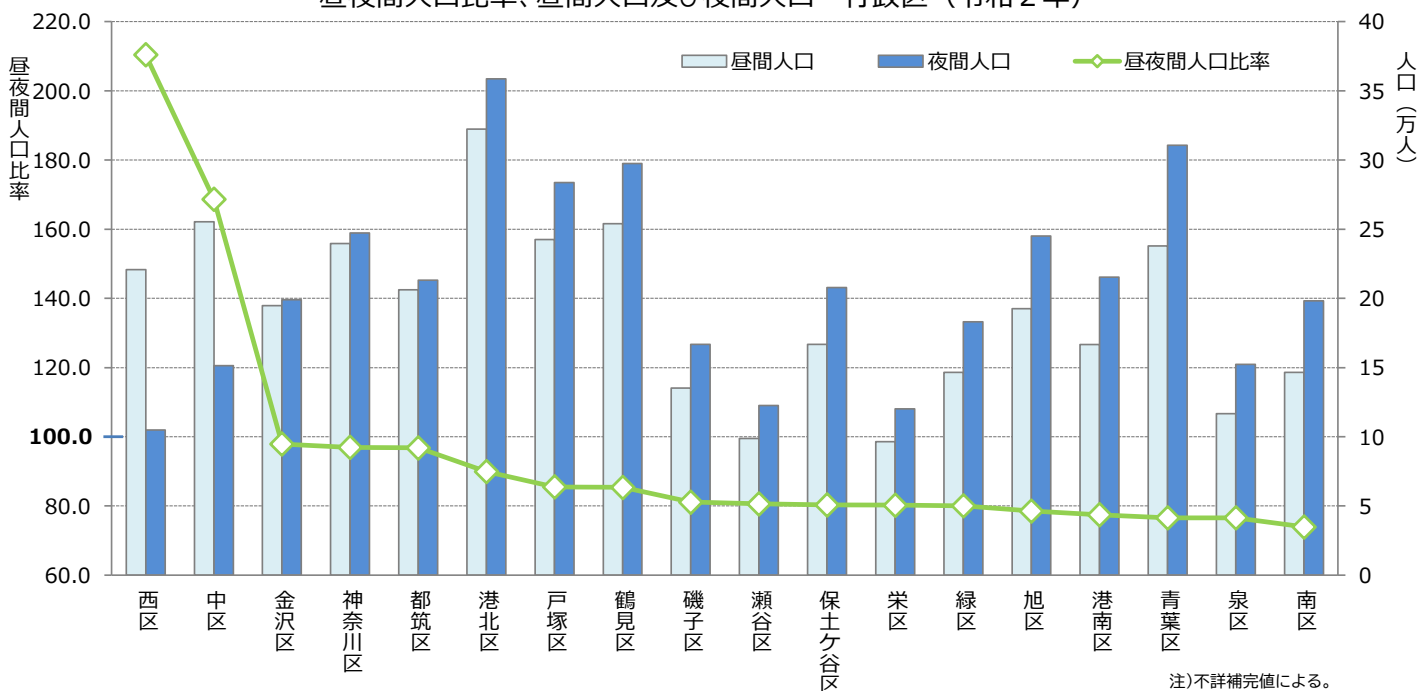
西区が210.4(前回比10.9ポイント上昇)と神奈川県内で第1位(全国第14位)

昼夜間人口比率を行政区別にみると、西区が210.4、中区が168.7と100を上回っています。前回と比べ、西区(10.9ポイント上昇)をはじめ10区で上昇し、西区と中区は神奈川県内市区町村でもそれぞれ第1位、第2位を占めています。

市内の行政区間の流入人口をみると、中区への流入が7万6356人と最も多く、次いで西区が7万552人、港北区が4万7065人となっています。

【同P6~7、P35~37参照】

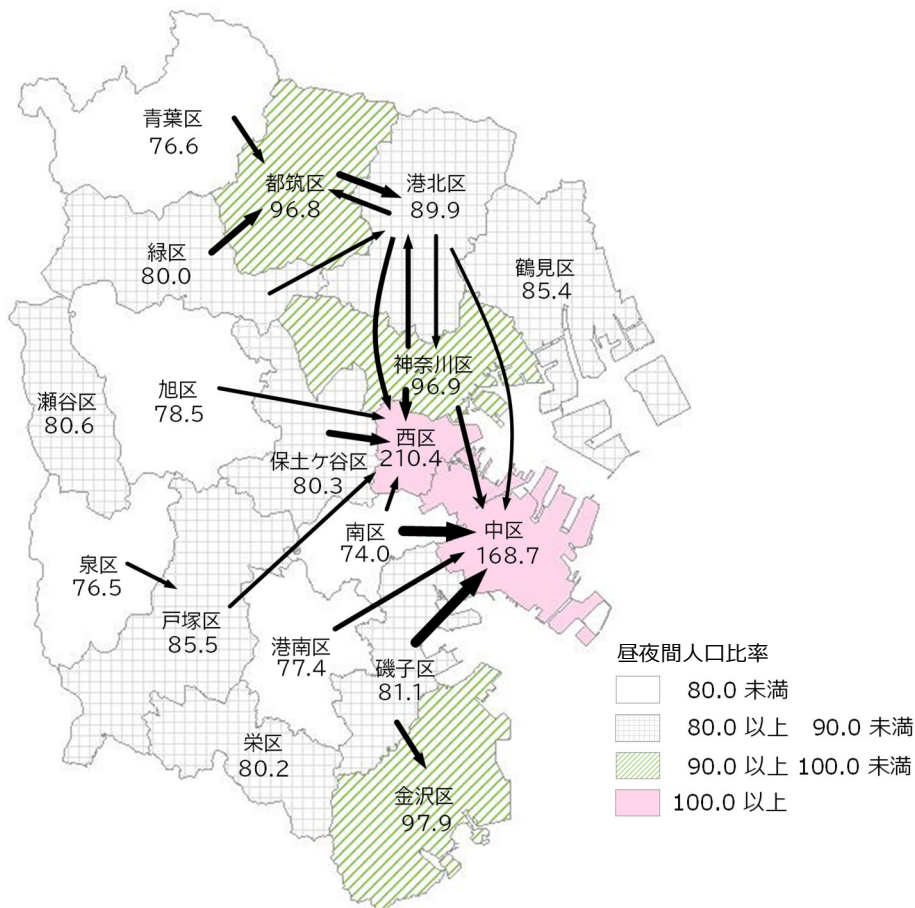
昼夜間人口比率、昼間人口及び夜間人口－行政区（令和2年）



注)不詳補完値による。

昼夜間人口比率と市内行政区間の流入者数の状況－行政区

流入者数(上位20区間)		
【流出側】	【流入側】	
南区	中区	9,507
磯子区	中区	8,130
都筑区	港北区	7,976
保土ヶ谷区	西区	7,471
緑区	都筑区	7,137
神奈川区	西区	7,015
港南区	中区	6,973
神奈川区	港北区	6,786
港北区	都筑区	6,553
青葉区	都筑区	6,461
港北区	西区	6,344
神奈川区	中区	6,113
磯子区	金沢区	6,025
旭区	西区	5,899
泉区	戸塚区	5,775
緑区	港北区	5,753
港北区	神奈川区	5,551
南区	西区	5,540
港北区	中区	5,529
戸塚区	西区	5,403



注)昼夜間人口比率は不詳補完値による。

## 2 横浜市に常住する15歳以上就業者・通学者

「自宅で従業」が3万6114人増加

自宅で従業  
(通学者は含まない)

令和2年

14万195人

↑ +3万6114人

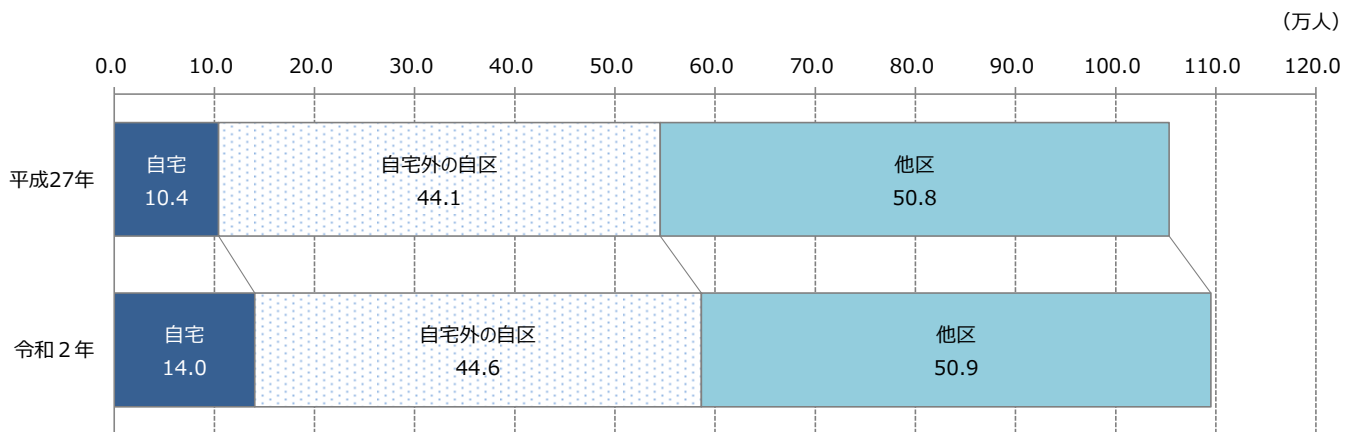
平成27年

10万4081人

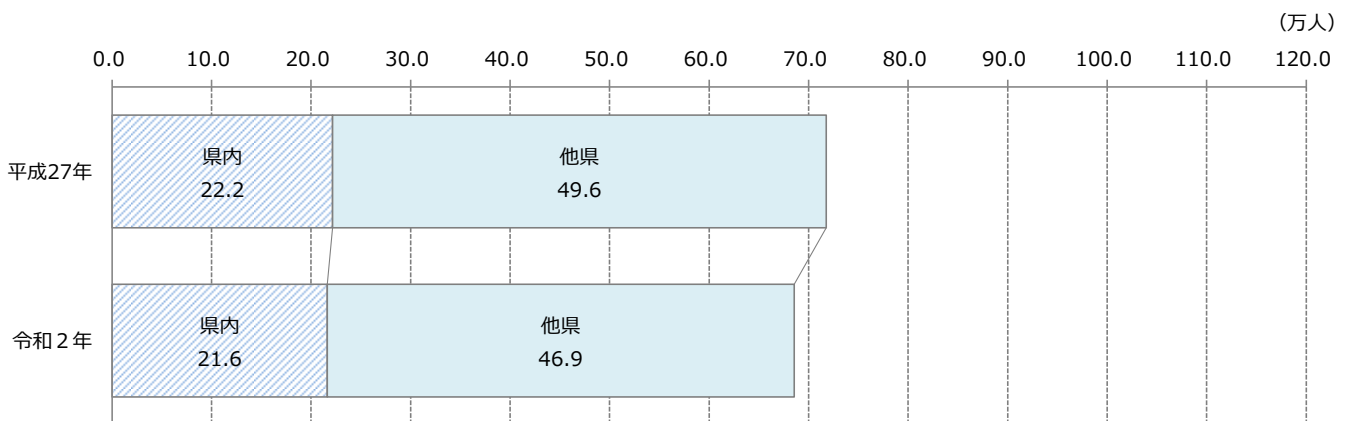
横浜市に常住する15歳以上就業者・通学者は184万7954人であり、このうち「市内で従業・通学」は109万5041人で、就業者・通学者の61.5%を占め、「市外で従業・通学」は68万5403人と38.5%を占めています。前回と比べると、「市内で従業・通学」が4万1656人増加しているのに対し、「市外で従業・通学」は3万2379人減少しています。「市内で従業・通学」のうち「自宅外の自区」(前回比4987人増)、「他区」(前回比555人増)に比べ、「自宅で従業」(通学者は含まない)は3万6114人増と増加が顕著となっています。

【同P12~13 参照】

従業地・通学地別（横浜市內）15歳以上就業者・通学者数

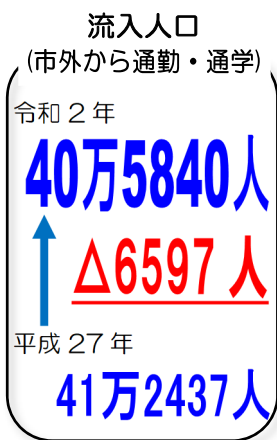
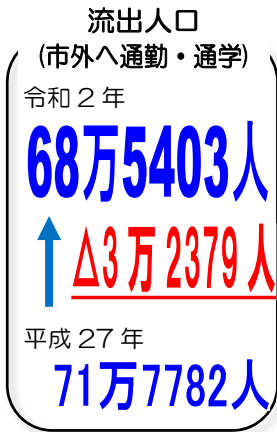


従業地・通学地別（横浜市外）15歳以上就業者・通学者数



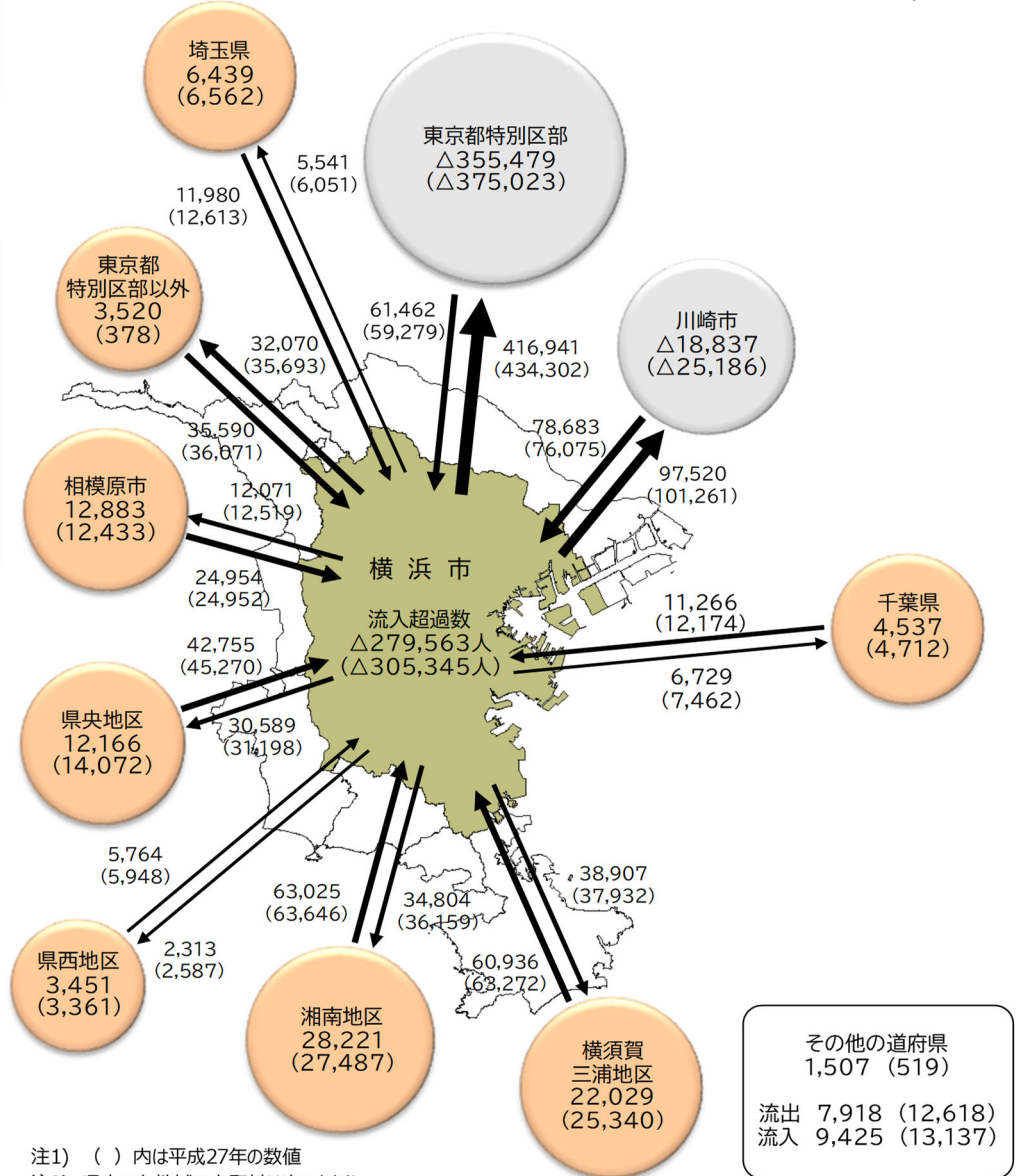
### 3 市外への流出・市外からの流入人口(15歳以上通勤・通学者)

流出人口は3万2379人減少、流出超過数は2万5782人減少



15歳以上就業者・通学者の横浜市からの流出人口(市外への通勤・通学者)は68万5403人(前回比3万2379人減)、横浜市への流入人口(市外からの通勤・通学者)は40万5840人(前回比6597人減)で、流出人口から流入人口を引いた流出超過数は27万9563人で前回(30万5345人)から2万5782人減少しています。

地域別にみると、東京都特別区部は35万5479人、川崎市は1万8837人の流出超過となっています。  
【同P24~25、P28 参照】



注1) ( ) 内は平成27年の数値  
 注2) 県内の各地域の市町村は次のとおり  
 横須賀三浦地区 … 横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町  
 県央地区 … 厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村  
 湘南地区 … 平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町  
 県西地区 … 小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町  
 注3) 流入超過数は流入人口から流出人口を引いた数

\* 詳細な結果は、横浜市統計情報ポータル「令和2年国勢調査」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/kekka/kokusei/r2/>

をご覧ください。

お問合せ先	
政策局統計情報課長	入江 佳久 Tel 045-671-2050